

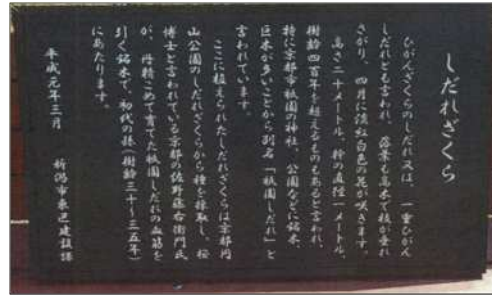
## シダレザクラについて

### 現 状

- 平成元年、京都円山公園の祇園しだれの血筋を引くものとして3本植樹された
- その後、毎年花見の時期はライトアップして「観桜会」を実施するなどしてPRしてきた（令和2年度、3年度は中止）  
花見の時期には多くの客が訪れ、「じゅんさい池といえばシダレザクラ」という声も少なくない
- この数年は、3本のうち、西側の2本が弱っている状況で、枝振りや花付きが悪い  
樹木医の診察や施肥等を施しているが、回復の様子がない状況



シダレザクラ（R3年4月撮影）



シダレザクラ付近には由緒を説明する看板が立てられています

### 課 題

- 現状のシダレザクラでは、せっかく見に来た方の期待に応えられるレベルではない。
- 由緒あり、長年親しまれてきただけに、簡単に伐採したり、代わりの木に植え替えることには抵抗がある。

### 検討事項

- じゅんさい池公園にとって、シダレザクラの位置づけや価値は何か
  - ・「季節を感じられる憩いの場づくり」に必要なもの？
  - ・30年以上の歴史があり毎年多くの観客が訪れるので、じゅんさい池には欠かせないもの？
  - ・由緒あるシダレザクラであり、地域の愛着が大きく、じゅんさい池には欠かせないもの？
  - ・今後つないでいくべきじゅんさい池の魅力や価値は、ここにしかない固有性（地形や環境）であり、植樹されたシダレザクラは永続させる必要はない？
- 弱っている2本について、管理の方向性は？
  - ・できる限り延命措置を取りながら管理していく？
  - ・危険性を判定し、倒木の危険が高ければ伐採する？
  - ・枝振りや花付きが良くないので伐採する？
- 伐採した場合、その後どうすべきか
  - ・新たな樹木を植樹すべきか
  - ・現在のシダレザクラから種取りや株分け等は可能か